

平成29年度第2回図書館協議会会議録

日 時 平成29年11月27日（月）午後1時30分～
場 所 いわき総合図書館 4階 会議室

出席者

委員 平原浩子 中野恵 草野チエ子 柳田明美 坂本節子 川口美岐男 有賀史人
藤谷美由記 高橋香里

図書館職員

いわき総合図書館長 安島副館長 大平副館長 図書企画専門員 総務管理係長
情報資料係長

欠席者

石原万里 委員

(進行 いわき総合図書館副館長)

- 開会
- 輝くいわき学びあい都市宣言唱和
- いわき総合図書館視察
- あいさつ

① いわき総合図書館長

本日の議題は、一つは、「健康・医療関係の蔵書の充実について」です。大平副館長が、始めに説明をして、それを受けて、委員の皆さんから意見をいただきたいと思います。二つ目は、「地区図書館の蔵書構成や図書館サービス等について」です。地区図書館を、短期的にまた、中長期的にどのように持っていくかについて、委員の皆さんから意見をいただきたいと思います。2点とも、今回だけで結論を得るといふことでなく、議論のスタートとしたいと考えています。

② 委員長

本日は、始めに、いわき総合図書館の視察をした後で協議となります。よろしくお願ひします。

○ 議事 (座長 委員長)

(1) 協議事項

①「健康・医療関係の蔵書の充実について」

資料に基づいて説明 (大平副館長)

②「地区図書館の蔵書構成や図書館サービス等について」

資料に基づいて説明 (いわき総合図書館長)

質疑応答

○いわき総合図書館視察を受けての意見

委員 自分自身も昼休みに雑誌を読んだりしているが、いわき総合図書館のテーマ展示には、いつも感心している。若い人も大人も活字に疎遠になっている中で努力している。

委員 泉小の保健室の前に健康・医療のテーマ展示として、市立図書館の本が展示されている。このように学校などと連携すると興味を持つのではないか。

委員 中学生の学習室があると聞いたが、ラトブ内の6Fなどで昼食はとれるか。

委員 6Fでは、昼食をとるという対応はしていない。

委員 テラスでは食事はできるか。

事務局 飲み物だけです。

○健康・医療関係の蔵書の充実についての意見

委員 医療は、日進月歩なので、常に新しい蔵書が必要になる。

委員 暮らしのセミナーで、情報を得たいと思っている利用者に活字だけでなく、肉声で情報を伝えることは、大変良い。

事務局 平成21年第1回の「新型インフルエンザ」では、保健師、第2回の「健康診断でわかること」では医師等、専門家をお呼びし、連携して事業を実施しています。

委員 健康・医療情報サービスを充実させていくとのことだが、内容がオーソライズされた間違いのない資料を揃えるべき。

事務局 暮らしのセミナーは、従前は、園芸などをテーマにしていましたが、医療のウェートが高まっています。医療関係の学部を充実させているいわき明星大学との連携も必要と思っています。信頼できない医療情報に対するフィルターも必要だと思っています。患者サイドの資料を揃えていきます。医療費を抑制するための健康法も含め、図書館をうまく利用できる市民をよい患者にしていくよう支援していきたいと思います。

利用者が医療情報を検索する道しるべになるようなシートも作成したいと

考えています。

委員 暮らしのセミナーを受講して、もっと詳しく知りたい方には、図書資料を案内する体制も必要。

事務局 メンタルな健康管理も重要だと考えています。

委員 ストレスを抱える子どもが多い。ストレスとの上手な付き合い方が大事。
また、発達障害の子供も増えている。10年前の3倍。家庭の意識にも温度差が大きい。そちらの関係の特集や本も揃えて欲しい。

委員 発達障害であることを知らずに育った大人の社会的な生活が大変で、こだわりが強いため、ギャンブル依存症になる人もいる。

委員 発達障害の子供は、クラスに2～3人いる。周囲の人が、発達障害関係の本を手取ることで理解が進む。そういう役割も図書館にはある。

委員 心の病が今、表面に出てきている。高齢化に伴う認知症の問題もある。暮らしのセミナーに参加することもよいことだ。

委員 精神医学や東洋医学の本は古びない。古典もある。

委員 暮らしのセミナーで、専門家を呼んで、新しい情報を聴くことは良いことだ。

○地区図書館の蔵書構成や図書館サービス等についての意見

委員 主に内郷図書館を利用している。通勤途中にあるため、いわき総合図書館の資料を内郷図書館に取り寄せて利用している。

事務局 地区図書館については、スペースの配分などを見直して、読書環境を改善していきたいと思っています。居心地がいい空間を目指して椅子や机の更新も計画しています。

○ その他 なし

○ 閉会